

学校運営協議会 会議実施報告書

このことについて、「岐阜県立学校における学校運営協議会の設置等に関する規則」第8条第1項に基づき、次のとおり学校運営協議会を開催しましたので、その概要について報告します。

- 1 会議名 恵那特別支援学校 学校運営協議会 (第1回)
- 2 開催日時 令和5年11月13日(月) 9:30~11:30
- 3 開催場所 知新会館(恵那特別支援学校隣接)
- 4 参加者

会長	市岡 知訓	当校PTA会長 <欠席>
副会長	渡邊 康正	明知鉄道株式会社(代表取締役 専務)
	伊藤 吉三	千代田電子工業株式会社(工場長)
	加藤 愛子	地域住民(岩村城女太鼓代表)
	齋藤 寿久	特定非営利活動法人くわのみ放課後等デイサービス 日中一時支援事業 りんごクラブ(管理者)
	鈴木 隆一	地域住民(NPO法人いわむら一斎塾)
	鈴木 由香	障害者地域支援センター 結
	長谷川則子	認定NPO法人かがやきキッズクラブ (理事長 施設管理者)
	村上 理恵	株式会社スプレット(統括)
学校側	三島 祥江	校長
	渡辺 敏昭	事務部長
	保 義博	教頭
	久保 恭子	小学部主事 <欠席>
	後藤 正樹	中学部主事
	鬼頭 克好	高等部主事
	小木曾齊昭	教務主任

5 会議の概要(協議事項)

(1) 協議について

- 学 校：協議のテーマ・協議の進め方について
- 各学部の取組について
- 学校アンケート(保護者)の結果について
- 高等部作業製品の価格変更や新製品について

(2) グループ協議

◇1 グループ<地域資源の活用について>

- 意見1：地域のニーズを受け岩村町でR6.4に就労継続支援B型の事業と生活介護事業を開設予定である。
- 意見2：校外での活動を増やし、障がい者の理解を促してほしい。
- 意見3：ホームページやSNSを活用し、学校の情報や活動の様子を発信することで、企業や地元の方と結びつき体験活動や就職に発展する。
- 意見4：現在、外国人実習生を受け入れているが、障がい者雇用も考えている。現場実習を1~2回やっただけでは適性が判断できない。もっとたくさん校外での実習を重ねていけば雇用

に結び付けやすいのではないか。

学校：高等部1年生の企業内作業学習（3日連続で1月と2月に実施）では、中津川市や恵那市内の多くの事業所から受け入れ可能の返事をいただいている。

◇2 グループ＜体験的な学習の実施について＞

意見1：小学校や中学校では、定期的に地元の方が講師となって、「太鼓、自然、歴史、食等」のテーマに沿って学習をしている。小中学校の地域交流の内容を参考にしてはどうか。

意見2：中津川市の障がい者施設の利用者が講師となって、小学校でごみの分別等の授業を行った。

意見2：B型の作業所では、働くことだけでなく、太鼓や劇、ダンスを楽しむ時間を設定したり、工賃をもらった日には必ず喫茶コーナーで飲食をしたりしている。

意見4：恵那市の作業所でも、定期的に岩村城女太鼓の方と交流を行っており、バスに乗って出掛けることが利用者の楽しみとなっている。

意見3：中津川市では、障がい者手帳を所持し、一般の会社に就職した人を対象に、2か月に1回、駅前の公共施設に集まって食事会やカラオケなどを楽しんでいる。

意見4：お金を使うことや余暇を楽しむことも生活していく上では大切なことであり、力も付けてほしい。

◇3 グループ＜情報の発信について＞

意見1：当施設では地域とのかかわりを大切にし、通信を発行して地域の方に読んでいただいている。

意見2：創作活動を行っているが、発表の場が少ないので、発表の場を設定し多くの人に見てもらいたいと思っている。

意見3：創作活動を積極的に行い、校外で発表する場を設定し、多くの人に見てもらおうとよい。

意見4：鉄道会社も地域に根差した活動を多く実施し、PR活動にも力を入れている。

意見5：歴史のある岩村町で「佐藤一斎先生」の勉強会を開いている。先日は、小学生も交えて、群読を行った。

6 会議のまとめ

- ・第1回運営協議会でのご意見を受けて、各学部の取組状況について理解を得られた。
- ・運営協議委員の方が所属する事業所や福祉事業所でも働くことだけでなく、様々な活動を行っていることが分かった。
- ・地域資源・人材活用のための具体的な提案を得られた。
- ・保護者や地域への情報発信の在り方については引き続き検討し、充実を図る。
- ・卒業後に地域で豊かな暮らしを送れるよう公共施設の活用や楽しめる力の育成に取り組んでいきたい。
- ・本会議で得られた課題や具体的な提案について、すぐに取り組めること、引き続き協議が必要なこと、時間をかけて実現していくことに整理し、実現可能なところから取組を進めたい。